



右馬允太郎

暑い夏がようやく通り過ぎて行くようにしています。

7月末から全く雨の降らない、太陽の日射しの強い盛夏の中で すずき、吾亦紅、野菊が咲きはじめあまり以合われないかと、思いながら注いで新鮮さに驚きました。23日の大雨で一息ついた後、又暑さか来ていました。風は冷んやりと気持ちよく、29日の朝は寒さを感じ、2週間遅れの空気が流れました。台風の影響で朝からホトホト雨かトクと敲いています。蒸し暑い朝ですが、庭の景色は静寂、涼し気、秋海棠のうす紅色が清々しく、夏の終りを語っています。青いいかま、コロコロ庭に落ちはじめたのは、どうもと前のことでした。実の入ったイカも落ちはじめ、飛び出して来るのは、今日の明日か。秋を楽しむ陽気を迎えています。

皆様 お変わりなく 健やかに お過ごししていらしゃいますでしょうか。

夏は一年振りの懐かしいお客様の次々に来たり再会の喜びに沸く時を重ねて過ぎていきます。94才を迎える母の元気で美しい目に目を見張る母との会話をしばらく楽しんで下され、好母はおしゃべりな事と絶賛の言葉の中で至福のひとときをいたわってあり、こころ美しさで元気で長生きの源と思われ、孫たちに発破をかけられて庭を歩いたり新聞(久美のワイド)を折らされたり、忙しかしい日中かあたりする中で、何よりのうれしい有難い時間と感えています。息子の正介か... 仕事を始めてくれたものと喜んでいて、違ひありません。このお舅で老人か人と幸福な時間を共有出来るという事は滅多にあることではありません。心から感謝申し上げます。

今年も夏も終わろうとしています。時間のゆるすところで、人の息子の存分に鮎釣りを楽しみ、娘は2回も縦走を体験し、仕事をさせてもらいながら、いろいろ結構出来るものたまたまというのか、見ている親御からの感想です。年を重ねるにつれ、動きか線から点になっていってしまうのは仕方ないとしても、それにしてももう少しアクティブに何かを楽しまなくてはと、思いつつ... 眺めている側の淋しさを味わった夏でした。